

コード	205030502
記入日	H23.6.10

課コード	106
課名	総務課
課長名	堀江 英生
担当者	前田 祥和

# 事務事業事後評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	消防詰所格納庫建設事業
----------	-------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 22 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1
基本事業コード	20503	基本事業名称	消防団組織と消防施設の充実	目コード	3
事務事業コード	2050305	事務事業名称	石油立地交付金事業費(消防施設)	細目コード	1041
関連計画	法令・条例規則等				

## 計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標						
(対象1) 消防詰所格納庫		(対象指標1) 1棟						
(対象2)		(対象指標2)						
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
****		消防詰所格納庫(若松第5分団) 1棟 建設		****	****	****	建設予定1箇所+建設箇所1箇所	****
				① 建設予定棟数	1棟	100%		平成22年度
				(達成率分析)	計画どおり1棟建設した。			
				②				
				(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
				****	****	****	正常に利用できた日数	****
				① 正常に利用できた日	99日	100%	99日+利用可能日数99日	平成22年度
				(達成率分析)	設置建設したことにより、団員活動の待機、資器材の格納場所として安心して使用することができた。			
				②				
				(達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 22 ~ H 22		21年度以前	22年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 棟	1	1		1	1
	②					
成果指標	① 日	99	99		99	99
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	13,080	12,606		13,080	12,606
直接事業費 A	千円	12,380	11,906		12,380	11,906
人件費 B	千円	700	700		700	700
内訳	従事職員数	人	0.1		0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円	10,800	10,800	10,800	10,800
	起債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	2,280	1,806	2,280	1,806

**評価 (CHECK)**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理由	各種災害発生時における、町民の生命・財産を守ることは、町の責務である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理由	行政が行うべきもので、不変的なものである。
	・事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい いいえ	理由	各種災害発生時における、重要な消防団員待機場所、資器材格納場所である。
有効性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理由	設置することにより、災害発生時の待機場所としての機能を発揮できる。
	・成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい いいえ	理由	適正に設置されている。
	・事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい いいえ	理由	消防詰所格納庫が無ければ、災害発生時の団員活動に支障をきたす。
	・類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	類似事業がない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	必要最小限の事業費のため削減できない。
	・人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	最少の人員で行っており削減はできない。
	・受益者負担は適正でしたか。	● はい いいえ	理由	受益者負担は発生しない。

**改善 (ACTION)**

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点	
	特になし。	
2 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策	
	特になし。	
2 次 評 価	火災・災害発生時の緊急体制が図られた。今後も万全な体制を確保しておくこと。	

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。